

経営比較分析表（令和元年度決算）

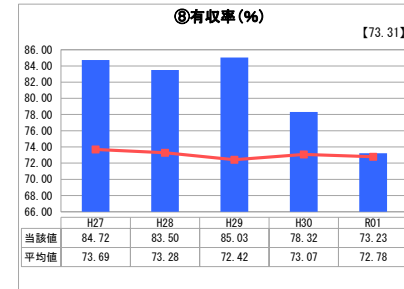
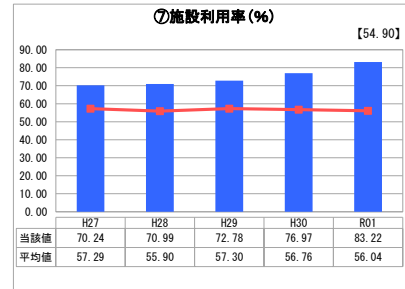
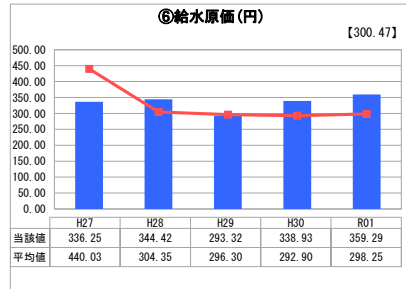
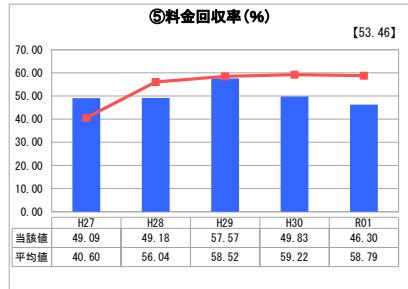
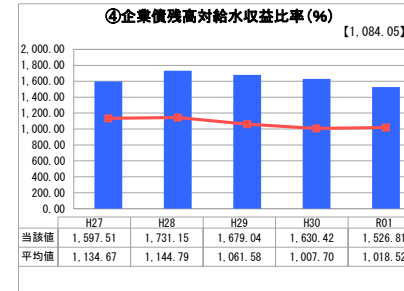
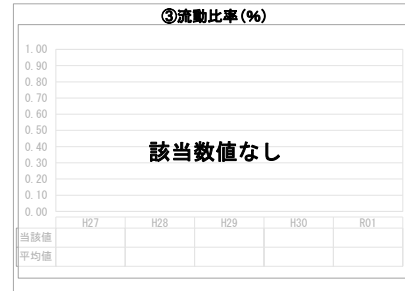
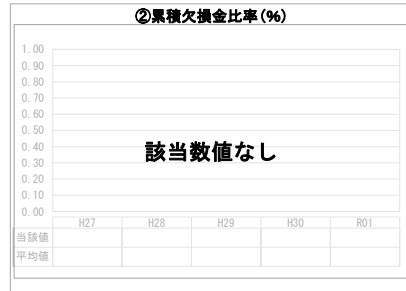
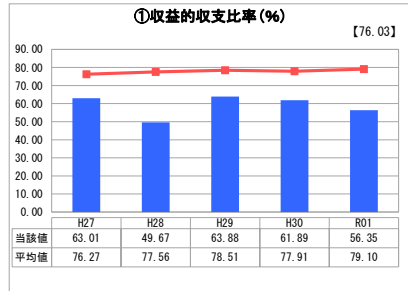
秋田県 上小阿仁村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	該当数値なし	97.80	3,300	

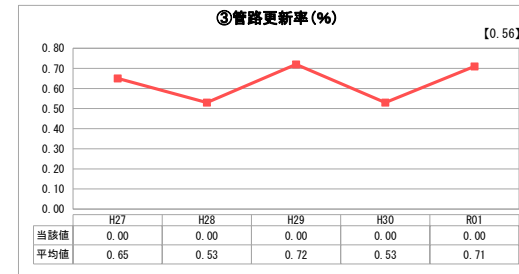
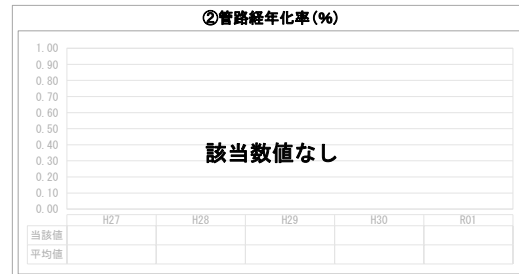
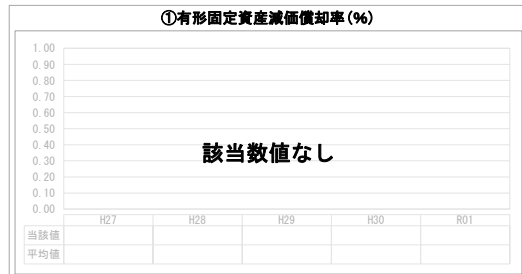
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,253	256.72	8.78
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,175	9.98	217.94

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率については、類似団体平均を下回っている。修繕工事等の維持管理費は前年度より抑えられたものの、令和元年度から令和3年度まで管路台帳作成業務を予定しており、委託料及び総費用の増加が見込まれるため今後も数値は低い水準で推移すると思われる。

企業債残高対給水収益比率については、減少傾向にある。統合事業が完了し、企業債残高は減少していくが、給水収益の減少が続くと思われることから、今後も同程度で推移する見込みである。

料金回収率については、類似団体平均を大幅に下回っている。経費削減や料金改定等による、更なる経営の改善が必要である。

施設利用率は全国及び類似団体を上回り高い水準で移行している。有収率は全国平均より僅かに下回ったものの、類似団体を上回り、経営の健全度、効率度は妥当である。

2. 老朽化の状況について

管路は経過年数が比較的浅いことから、近年の大規模な更新等はないが、送水ポンプや計器類の故障が相次いでいることから、今後も修繕費等は増えていくものと予想される。今後は簡易水道更新施設計画による施設の整備・更新が必要である。

全体総括

現在、施設の統廃合（平成28年度完了）により、効率的な施設の運営を進めている。

今後は、令和4年度で償還のピークを向かえ、その後徐々に減少していくことから、更なる効率的な施設運営が見込まれる。また、将来的な大幅な管路及び機器の更新に備え、アセットマネジメントにより、計画的な施設の整備・更新が必要であることから、簡易水道更新施設計画により、計画的な整備・更新が行えるよう準備を進める。